

清水中央ロータリー・クラブ細則案（クラブリーダーシッププラン適用時）

第1条 定義

- 理事会：本クラブの理事会
- 理事：本クラブの理事会メンバー（幹事、会計、会場監督を除く）
- 会員：名誉会員以外の本クラブ会員
- R I：国際ロータリー
- 年度：7月1に始まる12ヵ月間

第2条 理事会

本クラブの管理主体は本クラブの会員14名により成る理事会とする。すなわち本細則第3条第1節に基づいて選挙された7名の理事、会長、副会長、会長エレクト（または、後任者が選挙されていない場合は会長ノミニー）幹事、会計および直前会長である。

第3条 理事および役員の選挙

第1節

役員を選挙すべき会合の1ヵ月前の例会において、その議長たる役員は会員に対して、会長（次々年度）副会長、幹事、会計および7名の理事を指名することを求めなければならない。その指名は、クラブの決定するところに従って指名委員会または出席全会員のいずれか一方または双方によって行うことができる。もし指名委員会を設けるように決定されたならば、かかる委員会はクラブの定めるところに従って設置されなければならない。適法に行われた指名は各役職ごとにアルファベット順に投票用紙に記載されて年次総会において投票に付せられるものとする。投票の過半数を獲得した会長、副会長、幹事および会計がそれぞれ該当する役職に当選したものと宣言されるものとする。投票の過半数を得た7名の理事候補が理事に当選したものと宣言されるものとする。前記の投票によって選挙された会長候補は、会長ノミニーとなるものとし、その選挙の後の7月1日に始まる年度に、会長ノミニーのまま理事会のメンバーを務め、理事会のメンバー務めた年度直後の7月1日に、会長に就任するものとする。会長ノミニーは、後任者の選挙が行われた後に会長エレクトの役職名が与えられるものとする。

第2節

選挙された役員および理事に直前会長を加えて理事会を構成するものとする。選挙によって決定した理事エレクトは、1週間以内に会合してクラブ会員の中から会場監督を務める者を選任しなければならない。

第3節

理事会またはその他の役職に生じた欠員は、残りの理事の決定によって補填すべきものとする。

第4節

役員エレクトまたは理事エレクトの地位に生じた欠員は、残りの理事エレクトの決定によって補填すべきものとする。

第4条 役員の任務

第1節

会長。本クラブの会合および理事会の会合において議長を務め、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって会長の任務とする。

第2節

会長エレクト。会長エレクトは理事会のメンバーとして

の任務およびその他会長または理事会によって定められる任務を行うものとする。

第3節

副会長。会長不在の場合は本クラブの会合および理事会の会合において議長を務め、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって副会長の任務とする。

第4節

幹事。幹事の任務は、会員の記録を整理保管し、会合における出席を記録し、クラブ、理事会および委員会の諸会合の通知を発送し、これらの会合の議事録を作ってこれを保管し、毎年1月1日および7月1日現在の半期会員報告、半期報告を提出した7月1日または1月1日よりも後にクラブ会員に選ばれた正会員について10月1日と4月1日現在の四半期会員報告、会員資格変更報告、毎月の最終例会の後15日以内に地区ガバナーに対して行わなければならない月次出席報告を含む、諸種の義務報告をR Iに対して行い、R I公式雑誌の購読料を徴収してこれをR Iに送金し、その他通常その職に付随する任務を行うにある。

第5節

会計。会計の任務は、すべての資金を管理保管し、毎年1回およびその他理事会の要求あるごとにその説明を行い、その他通常その職に付随する任務を行うにある。その職を去るに当たっては会計はその保管するすべての資金、会計帳簿、その他あらゆるクラブ財産を、その後任者または会長に引き継がなければならない。

第6節

会場監督。会場監督の任務は通常その職に付随する任務、およびその他会長または理事会によって定められた任務とする。

第5条 会合

第1節

年次総会。本クラブの年次総会は毎年12月に開催されるものとする。そしてこの年次総会において次年度の役員および理事の選挙を行わなければならない。

第2節

本クラブの毎週の例会は木曜日12時30分に開催するものとする。例会に関するあらゆる変更または例会の取消はすべてクラブの会員全部に然るべく通告されなければならない。本クラブの瑕疵なき会員はすべて、名誉会員（または標準ロータリー・クラブ定款第8条第3節および第4節の規定に基づき、出席を免除された会員)を除き、例会の当日、その出席または欠席が記録され、その出席は、本クラブまたは他のロータリー・クラブにおいて、その例会に充当された時間の少なくとも60パーセントに出席していたことが実証されるか、もしくは標準ロータリー・クラブ定款第8条第1節の第2節の規定によるものでなければならない。

第3節

会員総数の3分の1をもって本クラブの年次総会および例会の定足数とする。

第4節

定例理事会は毎月第1例会日に開催されるものとする。臨時理事会は会長がその必要ありと認めたとき、または2名の理事から要求があるとき、会長によって招集されるものとする。但しその場合然るべき予告が行われなければならない。

ぐためのものである。しかし本クラブに対してその会員を出席同様にみなすためのものではない。その会員が他のクラブの例会に出席しない限り、出席を免除された会員は欠席と記録されなければならない。但し標準ロータリー・クラブ定款第8条第3節および第4節の規定に基づいて認められた欠席は本クラブの出席記録には算入されない)

第12条 財務

第1節

各会計年度の開始に先立ち、理事会はその年度の収支の予算を作成しなければならない。その予算は、これらの費目に対する支出の限度となるものとする。但し、理事会の決議によって別段の指示がなされた場合はこの限りではない。予算は2つの部分に分けられるものとする。すなわち、クラブ運営に関する予算と、慈善・奉仕活動運営に関する予算である。

第2節

会計は本クラブの資金をすべて理事会によって指定される銀行に預金しなければならない。クラブ資金は2つの部分に分けられるものとする。すなわち、クラブ運営に関する予算と、慈善・奉仕活動運営に関する予算である。

第3節

すべての勘定書は、会計、または理事もしくは権限をもつ役員2名の承認を受けたその他の役員によって支払われるものとする。

第4節

すべての資金業務処理は、毎年1回有資格者によって全面的な検査が行われるものとする。

第5節

資金を預りあるいはこれを取り扱う役員は、本クラブの資金の安全保管のために理事会が要求する保証を提供しなければならない。保証の費用は本クラブが負担するものとする。

第6節

本クラブの会計年度は7月1日より6月30日に到る期間とし、会費徴収の目的のために、これを7月1日より12月31日に至る期間および1月1日より6月30日に至る期間の二半期に分けるものとする。人頭分担金とR I公式雑誌購読料の支払は、毎年7月1日および1月1日に、それぞれ当日の本クラブ会員数に基づいて行われるものとする。（注：半期の途中に入会した会員の雑誌購読料はR I事務局からの仕切り状に基づいて支払われるものとする）

第13条 会員選挙の方法

第1節

本クラブの正会員によって推薦された会員候補者の氏名は、書面をもって、本クラブ幹事を通じ、理事会に提出されるものとする。移籍する会員または他クラブに属していた元クラブ会員は、元クラブによって正会員に推薦されてもよい。この推薦は、本条に別な定めのある場合を除き、漏らしてはならない。

第2節

理事会は、その被推薦者が標準ロータリー・クラブ定款の職業分類と会員資格の条件をすべて満たしていることを確認するものとする。

第3節

理事会は、推薦状の提出後30日以内にその承認または不承認を決定し、これをクラブ幹事を通じて、推薦者に通告しなければならない。

第4節

理事会の決定が肯定的であった場合は、被推薦者に対し、ロータリーの目的および会員の特典と義務について説明しなければならない。この説明の後、被推薦者に対し、会員申込用紙に署名を求め、また、本人の氏名および本人に予定されている職業分類をクラブに発表することについて承諾を求めなければならない。

第5節

被推薦者についての発表後7日以内に、理事会がクラブ会員（名誉会員を除く）の誰からも、推薦に対し、理由を付記した書面による異議の申し立てを受理しなかった場合は、その人は、名誉会員でないなら、本細則に定める入会金を納めることにより、会員に選ばれたものとみなされる。

理事会に対し異議の申し立てがあった場合は、理事会は、次の理事会会合において、この件について票決を行うものとする。異議の申し立てがあったにもかかわらず、入会が承認された場合は、被推薦者は、名誉会員でないなら、所定の入会金を納めることにより、クラブ会員に選ばれたものとみなされる。

第6節

このような選挙後に、クラブ会長は当該会員の入会式を行い、当該会員に対して会員証を発行し、ロータリー情報資料提供するものとする。その他、会長もしくは幹事が新会員に関する情報をR Iに報告し、会長が、当該新会員がクラブに溶け込めるよう援助する会員を1名指名し、同新会員をクラブプロジェクトまたは行事に配属する。

第7節

クラブは、標準ロータリー・クラブ定款に従い、理事会により推薦された名誉会員を選ぶことができる。

第14条 決議

クラブは、理事会によって審議される前に、本クラブを拘束するいかなる決議または提案を審議してはならない。もしかかる決議または提案がクラブの会合で提起されたならば、討議に付することなく理事会に付託しなければならない。

第15条 議事の順序

開会点鐘

国歌斉唱（毎月第1例会のみ）

ロータリーソング斉唱

四つのテスト唱和

ビジター紹介

食事

会長あいさつ

お祝い事の発表

幹事報告

委員会報告

スマイルニュース発表

スピーチその他のプログラム

閉会点鐘

第16条 改正

本細則は、定足数の出席する任意の例会において、出席会員の3分の2の賛成投票によって改正することができる。但し、かかる改正案の予告は当該例会の少なくとも10日前に各会員に郵送されていなければならない。標準ロータリー・クラブ定款およびR Iの定款、細則と背馳することき改正または条項追加を本細則に対して行うことはできない。

<p>第5節</p> <p>理事の過半数をもって理事会の定足数とする。</p>

<p>第6条</p> <p>入会金および会費</p> <p>第1節</p> <p>苑 入会金は50,000円とし、入会承認に先んじ納入すべきものとする。</p> <p>園 苑の規定にかかわらず、退会した会員と同一企業に所属する者が前記退会から6ヶ月以内に入会する場合の入会金は20,000円とする。</p> <p>第2節</p> <p>苑 会費は年額185,000円とし、各半年ごとの各支払額のうち一部は各会員のR I公式雑誌の購読料に充当するという諒解の下に、毎年2回7月1日および1月1日に納入すべきものとする。</p> <p>園 苑の規定にかかわらず、退会した会員と同一企業に所属する者が前記退会から6ヶ月以内に入会する場合、退会者の既納会費をもって重複する期間について充当するものとする。</p>
--

<p>第7条</p> <p>採決の方法</p> <p>本クラブの議事は、役員および理事を投票によって選挙する場合を除き、口頭による採決をもって処理されるものとする。理事会は、特定の決議案を、口頭ではなく投票により処理することを決定することができる。</p>
--

<p>第8条</p> <p>四大奉仕部門</p> <p>四大奉仕部門は、本ロータリー・クラブの活動のための理念と実践の枠組みである。それはクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、および国際奉仕である。本クラブは、クラブリーダーシッププランに則した組織を構成し、四大奉仕部門に積極的に取り組むこととする。</p>

<p>第9条</p> <p>委員会</p> <p>クラブ委員会は、四大奉仕部門に基づいた年次および長期的な目標を推進する責任を持つ。会長エレクト、会長、および直前会長は、指導の継続性と計画の引継を確約するために、協力する。会長エレクトは一貫性を保持するため、実行可能な委員会構成につとめる。委員会は同じ委員の再任を妨げない。常設委員会の任命は次のとおりである。</p>
--

<p>会員組織委員会</p> <p>この委員会は、会員の勧誘と退会防止に関する包括的な計画を立て、実施するものである。</p> <p>陰会員増強委員 この仕事は、絶えず本クラブの充填未充填職業分類表を検討し、未充填の職業分類を充填するために適当な人物の氏名を理事会に推薦するよう積極的に努めなければならない。</p> <p>隠職業分類委員 この仕事は、毎年できるだけ早く、少なくとも8月31日以前にその地域社会の職業分類調査を行わなければならない。その調査から、職業分類の原則を適用し、充填未充填職業分類表を作成しなければならない。必要な場合は本クラブの現会員のもっている職業分類を再検討しなければならない。そして、あらゆる職業分類の問題について理事会と協議しなければならない。</p> <p>韻会員選考委員 この仕事は、会員に推薦されたすべての者を個人的な面から検討して、その人格、職業上および社会的地位並びに一般的な適格性を徹底的に調査しなけ</p>

ればならない。そしてすべての申し込みに対する担当の決定を理事会に報告しなければならない。

<p>クラブ広報委員会</p> <p>この委員会は、一般の人々にロータリーについての情報を提供し、クラブの奉仕プロジェクトと奉仕活動を推進する計画を立て、実施するものである。</p> <p>陰雑誌・広報委員 この仕事は、ロータリアン誌に対する読者の関心を喚起し：雑誌月間を主催し、クラブの例会プログラムにおいて毎月雑誌の簡単な紹介を手配し：新会員の教化に雑誌を利用することを奨励し：ロータリアンでない講演者に雑誌を贈呈し：図書館、病院、学校、その他の図書閲覧室のために国際奉仕並びにその他の特別購読を取り計らい：ニュース資料と写真を雑誌編集者に送り：その他あらゆる方法によって雑誌を本クラブ会員およびロータリアン以外の人々に役立てるものとする。また、茨広く一般世間に、ロータリー、その歴史、綱領および規模に関する情報を提供し、そして芋本クラブのために適切な宣伝を行う方策を考案しこれを実施するものとする。</p>
--

<p>隠クラブ会報委員 この仕事は、クラブ週報の刊行によって、関心を促して出席の向上を図り、近づく例会のプログラムを発表し、前回の例会の重要事項を報告し、親睦を増進し、全会員のロータリー教育に寄与し、クラブ、会員、および世界各地のロータリー・プログラムに関するニュースを伝えるべく努めなければならない。</p> <p>韻I T推進委員 この仕事は、会員同士、会員と事務局、地区、分区そのほかとのコミュニケーション手段の1つとしてI Tの活用を推進するものとする。</p>

<p>クラブ運営委員会</p> <p>この委員会はクラブの効果的な運営に関連する活動を実施するものである。</p> <p>陰プログラム委員 この仕事は、本クラブの例会および臨時の会合のためのプログラムを準備し、手配しなければならない。</p> <p>隠親睦活動委員 この仕事は、会員間の知り合いと友誼を増進し、用意されたロータリーのレクリエーションおよび社交的諸活動への参加を会員に奨励し、本クラブの一般目的の遂行上会長または理事会が課する任務を果たすものとする。</p>

<p>韻会場委員 この仕事は、毎回の例会開催にあたり、会場の設営及び食事の手配等を行い、例会が円滑に行われるよう準備を行いものとする。</p> <p>吋出席委員 この仕事は、すべてのクラブ会員があらゆるロータリーの会合に出席すること害害これには、地区大会、都市連合会、地域大会および国際大会への出席も含まれる害害を奨励する方法を考案するものとする。この仕事は特に本クラブの例会への出席と、本クラブの例会に出席できない場合の他クラブ例会への出席とを奨励し、全会員に出席規定を周知せしめ、出席を良くするためのよりよき奨励策を講じ、そして出席不良の原因となる諸事情を確かめてこれを除去することに努めるものとする。</p>

<p>奉仕プロジェクト委員会</p> <p>この委員会は、地元地域社会および他国の地域社会におけるニーズに応える教育的、人道的および職業的プロジェクトを企画し、実施するものである。</p> <p>1．職業奉仕委員会</p>

この委員会は、本クラブの会員が、その職業関係における諸責務を遂行し、各会員それぞれの職業における慣行の一般水準を引き上げるうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案しこれを実施するものとする。この委員会の委員長は、本クラブの職業奉仕活動に責任をもち、職業奉仕の諸特定分野について設置されるあらゆる委員会の仕事を監督しこれを調整するものとする。

<p>2．社会奉仕委員会</p> <p>この委員会は、本クラブの会員がその地域社会に対する諸責務を遂行するうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案しこれを実施するものとする。この委員会の委員長は、本クラブの社会奉仕活動に責任をもち、社会奉仕の諸特定分野について設置される次の委員会の仕事を監督しこれを調整するものとする。</p> <p>陰人間尊重担当 この仕事は、援助を必要とする人々に力を貸し、支援することによって、すべての人が生涯にわたり幸福に暮らせるように心を配るものとする。</p> <p>隠地域発展担当 この仕事は、地域とその諸施設の現状を改善することによって住みやすい場所を築くよう心を配るものとする。</p> <p>韻環境保全担当 この仕事は、地域の環境の質を調査、改善するよう心を配るものとする。</p> <p>吋協同奉仕担当 この仕事は、地域内のロータリー提唱の団体との関係を強化し、その奉仕活動に協力することに心を配るものとする。</p> <p>3．国際奉仕委員会</p>

<p>この委員会は、本クラブの会員が、国際奉仕に関する事柄においてその諸責務を遂行するうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案し、これを実施するものとする。この委員会の委員長は、本クラブの国際奉仕活動に責任をもち、国際奉仕の諸特定分野について設置されるあらゆる委員会の仕事を監督しこれを調整するものとする。</p> <p>4．新世代委員会</p> <p>この委員会は、本クラブの会員が、青少年の健全育成と非行防止に関する事柄においてその諸責務を遂行するうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案し、これを実施するものとする。この担当者は、本クラブの新世代活動に責任をもち、新世代の諸特定分野について設置されるあらゆる担当者の仕事を監督しこれを調整するものとする。</p> <p>5．青少年育成小委員</p> <p>この担当委員は、地区青少年育成委員会と協力し当クラブが関与し、活動するものとする。</p>

<p>ロータリー財政委員会</p> <p>この委員会は、資金的寄付とプログラムへの参加を通じてロータリー財団他を支援する計画を立て、実施するものである。</p> <p>陰ロータリー財団委員 この仕事は、本クラブの会員が、ロータリー財団に対する理解と認識を深めるうえで役立つ指導と援助を与えるような方策を考案し、これを実施するものとする。また、ロータリー財団への寄附及び、ロータリー財団奨学生についての仕事を監督しこれを調整するものとする。(ロータリー財団奨学金小委員担当も含む)</p> <p>隠ドネーション委員 この仕事は、ロータリー財団関係、米山関連以外の寄付を促進し当クラブ独自の活動を促進する委員とする。</p> <p>韻米山委員 この仕事は、本クラブの会員が、財団法人ロータリー米山記念奨学会に対する理解と認識を深める</p>
--

うえで役立つ指導と援助を与えるような方策を考案し、これを実施するものとする。また、米山奨学会への寄附及び、米山奨学生についての仕事を監督しこれを調整するものとする。(米山記念館担当も含む)

<p>クラブ未来委員会</p> <p>この委員会は当クラブの将来ビジョンや運営方針の指針を提言する、もしくは情報を収集する事を目的とする。</p> <p>1．歴代会長会 この会合は現執行部に対する諮問機関として不定期に開催される。この会の招集および事務局は現在会長がこれを行う。構成員としては歴代会長とする。</p> <p>2．C L P推進委員会 この委員会はクラブリーダーシッププランをよりクラブとして活用しやすくする検討、普及を目指す委員会とする。構成員として直前会長、会長、会長エレクト各該当年度幹事、現会長が指名する若干名とする。</p> <p>3．ビジョン策定委員会 この委員会は清水中央R Cの中長期計画を策定し、より有効なロータリークラブとなるべく活動する。</p> <p>4．ロータリー情報委員会 この委員会は、3名の会長経験者をもって構成されるものとし、それぞれ毎年1名の担当を3年の任期をもって任命するものとする。本規定に基づく最初の任命は次のごとく行うものとする。1名は1年、1名は2年、1名は3年の任期をもって、それぞれ任命する。</p>

<p>その他必要に応じて特別委員会を設けることができる。</p>

<p>苑 会長は、職権上すべての委員会の委員となるものとし、その資格において委員会に付随するあらゆる特典をもつものとする。</p> <p>園 各委員会は本細則によって付託された職務およびにこれに加えて会長または理事会が付託する事項を処理すべきものとする。理事会によって特別の権限を与えられた場合を除き、これらの委員会は、理事会に報告してその承認を得るまでは行動してはならない。</p> <p>遠 それぞれの委員長はその委員会の定例会合に対して責任をもち、委員会の仕事を監督、調整する任務をもち、委員会の全活動について理事会に報告するものとする。</p>

<p>第10条</p> <p>委員会の任務</p> <p>会長は、その任期中の諸委員会の任務を確定し、評価するものとする。各委員会の任務を発表するにあたり、会長は既存の適切なR I文書を参照するものとする。奉仕プロジェクト委員会はその年度計画を考案する際、職業奉仕、社会奉仕、および国際奉仕の部門を考慮することとする。</p> <p>それぞれの委員会は、具体的な権限、明確な目標、および各年度の初めにその年度内に実施する行動計画を設定するものとする。上述の通り、ロータリー年度の開始に先立ち、クラブ委員会のための推奨事項、委託任務、目標、計画に関し理事会に対して説明発表するための準備を整えるにあたり、必要な指導を施すのは会長エレクトの主要責務である。</p>
--

<p>第11条</p> <p>出席義務規定の免除</p> <p>理事会に対して書面をもって、正当かつ十分な理由を具して申請することによって、会員は出席義務規定の免除が与えられ、一定期間を限り本クラブの例会出席を免除される。(注：このような出席義務規定の免除は会員身分の喪失を防</p>
--